

交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科：農学部環境管理学科

学籍番号：

氏名：

※留学を希望している近畿大学学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか。

☒ 同意する ☐ 同意しない

同意する場合、連絡可能なメールアドレス

留学先国名：フィリピン

留学先都市：ロスバニョス

留学先大学：フィリピン大学ロスバニョス校 (UPLB)

留学先所属学部：森林・天然資源学部 (CFNR)

留学期間：2019年8月～2020年4月

学年（出発時）：2年

帰国報告書提出日：2020年10月27日

1. 留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

UPLBは、フィリピン大学の分校の一つで、マニラから約65kmに離れたところに位置しています。キャンパスはMakiling山に隣接し、laguna湖もキャンパスから比較的近いところにあります。キャンパス内には緑地スペースが多く、地元民の憩いの場ともなっている。UPLBは農業や林学の分野において、フィリピン国内では評価が高いことで有名です。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

自分は留学生ということで、授業中は、先生がタガログ語を話すのをなるべく控えてもらいました。しかし、実際のところは、授業課題で行った演劇やプレゼンテーションなどはタガログ語が行われ、全てが全て英語で授業が進むとは限らなかった。その他、英語も十分に理解するスキルがなかったので、ボイスレコーダーの使用を認めてもらいました。

勉強面でのサポート

実験の授業はタガログ語が使用されることが多く、授業内容がより理解しづらいこともあり、オフィスアワー時、先生がいる場所に尋ねる、授業内容に関する質問をしました。

精神面でのサポート

学校の課題で思い悩んだことがあったので、学校のカウンセリングサービスを利用し、精神的なサポートをしてもらいました。

生活・住居面でのサポート

学生寮のみを利用していたが、wifiは完備されており、寮によっては自炊することができました。しかし、実際にはカンティーンと呼ばれる野外食堂で食事を取るの方が多かったです。交通手段としては、ジブニーと呼ばれる小型のバスをほとんど毎回利用していました。

2. 生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

学生寮はの一月あたり家賃は1500ペソと安いと注意しておく点もあります。一つ目は、ヤモリやアリなどの小動物が部屋中にかなりいることです。二つ目は、停電とwifiが使えるなくなることが、台風が接近しているときに頻発したことです。

(2) パソコンについて

PCの保有状況：☒日本から持参した ☐現地で購入した ☐保有しなかった

Wi-Fiの有無：☒有 ☐無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

wifiは大学のwifiを利用していました。そのため、料金がかかることはありませんでした。

大学でのPCの使用可否：☒使用できた ☐使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

CFNRのコンピューターエリアか大学の図書館のコンピューターエリアを利用していました。CFNRのコンピュータールームの利用時間は平日のみの午前8時～午後5時でありました。その一方で、大学の図書館のコンピューターエリアの利用時間は平日の午前8時～午後8時と土曜日の午前8時～午後5時でありました。

(3) 医療について

Health center（大学内施設として）の有無：☒有 ☐無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

留学の途中で、アトピーがひどくなったので、そのときに大学のメディカルサービスを利用しました。健康管理については、下痢など体調を崩すことがあるので、水道水は飲まないこととカンティーンで晩御飯を取る際は、ソースものの料理を食べないように心掛けることが必要でした。なぜなら、カンティーンの惣菜は作り置きされたものが多いからです。

(4) 銀行口座について

留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

留学先で口座を開設せず、代わりに、国際キャッシュパスポート用の口座を渡航前に開設し、現金が欲しいときにATMから国際キャッシュパスポートカードを利用し、お金を引き出していました。また、クレジットカードが使えるときは、クレジットカードで日本の銀行口座から支払いすることもありました。

(5) 異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

フィリピンはキリスト教の国ということで、教会がいたるところにあり、実際にキリスト教徒も多くいました。また、フィリピンには長老の人を尊敬する習慣がありました。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

特にしていませんが、自分が興味ある研究をしている先生を尋ねて、その先生のフィールドトリップに参加することがありました。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

治安については、キャンパス周辺では安全であり、常識の範囲内で行動すれば、問題はほとんどないと思います。しかし、マニラなどの都会に行くときは、犯罪に巻き込まれ可能性があるため注意する必要があります。外国人への態度に関しては、人によりけりで、親切な人もいれば、そうでない人もいました。

3. 後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

インターネットで調べれば、参考になりそうな情報はいくらか出てくるので、ここでは省略します。

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

日本のお土産を持っていくと、フィリピン人学生とより仲良くなれるかもしれません。その他、近畿大学で受講した講義のノートやレジュメを、又はそれらをデジタル化したものを持参しておく、内容がある程度被っているUPLBの授業を理解するための助けになるかもしれません。

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

語学力：留学前－資格試験名称 TOEFL ibt 66 点 (級)
 留学後－資格試験名称 _____ 点 (級)

冷静に物事を考える力と自分に対する自信が得られました。冷静に物事を考える力というのは、留学期間中は物事が自分の思う通りに行かないことに多く出くわしたために、その不満をどう対処するか模索する過程で得られました。また、自分に対する自信は、英語で全て自分の意思を伝えないという状況に置かれたために、得られました。

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

コロナウイルスの流行が最大のトラブルでした。このウイルスが流行したことで、全ての授業が中断され、帰国するまでの3週間はずっと寮に待機していました。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

クラスの人数はいくつかの教科で、講義のクラスと実験のクラスによって分かれており、講義のクラスは70人ぐらいいますが、実験のクラスは20人ぐらいです。成績評価については、実験と講義の授業で、試験が3回ぐらい行われ、それらの試験結果とクイズ・レポート・インセンティブ（授業外のあるイベントに参加したらもらえるボーナス点）が加わって、成績が評価されます。現地学生の取り組み方については、ほとんどの学生が真面目で、より良い成績を取るために勉強熱心でした。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

全くしていません。

4. 費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

- (1) 留学時のレート：1ペソ＝約2.1円
 (2) 航空運賃：約16万円
 (3) 住居費（月額）：約1500ペソ × 留学期間月数⁸ カ月＝約12000ペソ
 (4) 食費（月額）：約7500ペソ × 留学期間月数⁸ カ月＝約60000ペソ
 (5) 保険料：約8万円
 (6) その他：予防接種代：約10万円
 (7) 留学費用の合計：約50万円

5. その他 自由に記入してください。

コロナウイルスの流行で、最後まで留学生生活をやり過ごせなかったのは少し残念です。また、留学の目的として①専門分野を通して英語力を身につける ②熱帯雨林に対する理解を高める を掲げていましたが、正直なところ、あまり達成はできませんでした。英語力については、そもそも、専門分野を通して学ぶことではなく、留学前であっても既に十分であるぐらいに準備するものだと思いましたが、後で気が付きました。また、熱帯雨林に対する理解については、八か月という短期間で達成できるものではないと感じました。しかし、熱帯雨林を実際に肌で感じたことは、自分の研究者としての将来を考えると役に立つものだと考えています。また、自分の留学生生活が当初思い浮かべていたのと異なっていた（コロナウイルスの流行や留学の目的との達成できなかったこと）としても、フィリピン又はUPLBで過ごした日々は自分にとっての一生の財産になりました。また、いつか、UPLBで長期的に留学して、フィリピンの熱帯雨林の理解を深めようと考えています。

アドバイスですが、もし、留学に行くか行かないかで迷っている人がいたら、自分に行くことを100%おすすめします。留学生生活が自分が期待していたようにはいかない人もなかにはいると思いますが、異国の地で異国の人と知り合ったことは、長年忘れることのない深い思い出となります。そういった深い思い出が自分の人生を少しでも豊かするのに役立つのではないかと思います。

6. 留学先大学のキャンパス等、思い出に残る写真をぜひ添付して送信してください。